

東日本製鉄所（千葉地区）におけるコークス炉からの発煙および異常燃焼に伴う爆発音について

昨年12月2日のJ F Eケミカル硫酸タンクの爆発事故、12月6日の物流倉庫での火災に続き、本年1月6日にコークス炉からの発煙と異常燃焼に伴う爆発音を発生させてしまいましたことは、誠に残念であり深く反省しております。

地元住民の皆様や、関係御当局、ならびに関係各方面の方々に多大なるご迷惑およびご心配をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

1. 事故の状況

1月6日午前10時10分頃、当社東日本製鉄所（千葉地区）の東工場において大量の煙が発生しました。

これは、同地区東工場における突発の停電に起因し、同地区にあるコークス炉で発生する可燃性ガスを吸引処理する設備が一時的に停止したため、安全保全措置を施す過程で生じたものです。

具体的には、可燃性のガス（水素、メタン、COガス）が周辺に拡散するのを防止するため、コークス炉上で着火・燃焼処理を行い無害化する際に、大量の煙を発生するに至りました。

大気への影響につきましては、千葉市の環境大気測定局による観測では基準値内であることが確認されており、無害化されております。

また、午前10時22分頃、爆発音が発生しました。具体的には、第7コークス炉煙突付近で異常燃焼が発生した際の爆発音です。

午前10時50分頃に停電は復旧しました。

停電に至った原因や異常燃焼に伴う爆発音などの詳細は、現在、当局のご指導を仰ぎながら協力して調査中です。

また、本件による負傷者はありません。

2. 今後の対応

本日、千葉市から、原因の徹底的な究明と設備の総点検を行い、再発防止に向けて抜本的な対策を講じるよう指導を受けました。

当社としましては、連続して発生させてしまった事故を真摯に受け止め、当局のご指導を仰ぎながら原因の究明と対策を図ってまいります。

また、防火防災については、専従者を含めた特別チームを編成した上で、重大トラブル撲滅に向けた特別活動を実施し、グループ会社を含めた再発防止、一層の安全・防災管理体制の充実に全力を尽くしてまいります。

以上

本件に関するお問合せは、以下にお願いいたします。

J F E スチール(株) 総務部広報室 Tel. 03 (3597) 3166  
J F E スチール(株) 東日本製鉄所（千葉地区）総務部総務室 Tel. 043 (262) 2024